

## 振込入金明細照会結果ファイル（CSV形式） レコードフォーマット

項目番	項目名	データ長	内容	設定範囲	備考
1	照会口座	C(8)	照会口座の項目名	"照会口座"	
2	番号	C(4)	番号の項目名	"番号"	
3	勘定日	C(6)	勘定日の項目名	"勘定日"	
4	起算日	C(6)	起算日の項目名	"(起算日)"	
5	金額	C(10)	金額の項目名	"金額(円)"	
6	小切手区分	C(10)	小切手区分の項目名	"小切手区分"	
7	取引区分	C(8)	取引区分の項目名	"取引区分"	
8	明細区分	C(8)	明細区分の項目名	"明細区分"	
9	金融機関名	C(10)	金融機関名の項目名	"金融機関名"	
10	支店名	C(6)	支店名の項目名	"支店名"	
11	振込人名	C(8)	振込人名の項目名	"振込人名"	
12	振込メッセージ	C(14)	振込メッセージの項目名	"振込メッセージ"	
13	照会口座	C(71)	照会口座		
14	番号	C(5)	番号		
15	勘定日	C(14)	勘定日		
16	起算日	C(14)	起算日		
17	金額	N(15)	金額		金額区分によっては先頭にマイナス(-)を付与する
18	小切手区分	C(6)	小切手区分	"小切手"、"他店券"のいずれかを出力する	
19	取引区分	C(8)	取引区分	"振込"	
20	明細区分	C(4)	明細区分	"取消"、"欠番"のいずれかを出力する	
21	金融機関名	C(15)	振込金融機関名		
22	支店名	C(15)	振込支店名		
23	振込人名	C(48)	振込人名		
24	振込メッセージ	C(20)	振込メッセージ		

### 【注意事項】

- 各項目はダブルクオーテーションで囲み、項目がない場合はダブルクオーテーション 2 つとし、項目区切りはカンマとする。
- ただし、最終項目とレコード区切り符号の間の項目区切り符号は省略する。
- 複数明細ある場合でも 1 ファイルで出力される。
- 複数明細ある場合は、項目番 1 3 から項目番 2 4 までを明細数分繰り返す。

### 【データ長】

- データ属性（N : 数字 C : 文字）

## 振込入金明細照会結果ファイル（ANSER-API形式） レコードフォーマット

### 【注意事項】

- ・各項目間は項目区切り符号(TAB)とする。
- ・ただし、最終項目とレコード区切り符号の間の項目区切り符号は省略する。
- ・複数明細ある場合でも1ファイルで出力される。
- ・複数明細ある場合は、項目95から項目124までを明細数分繰り返す。
- ・複数口座の取引照会の照会結果で以下の電文種別の場合はAPIダウンロードレコードに含めない。  
4213(連絡済報告)、4312(該当なし報告)、4313(未連絡報告)、6228(データ無し報告)
- ・複数口座の取引照会の照会結果でエラー報告電文についても「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」に出力されてもAPIダウンロードファイルに含めない。

項目番	項目名	データ長	内容	設定範囲	備考
1	レコード区分	C(12)	レコード区分	"サービス情報"	
2	金融機関コード	N(4)	金融機関コード		
3	サービス情報	サービスコード	N(4)	「振込入金明細照会[ANSER]条件指定画面(BFMR001)で選択した「照会区分」に対応するサービスコードに"00"を付与し出力する。例>サービスコードが"21"の場合、"2100"を出力。」	
4	レコード区分	C(8)	レコード区分	"項目名称"	
5	日付月	C(2)	日付月の項目名	"月"	
6	日付日	C(2)	日付日の項目名	"日"	
7	時刻時	C(2)	時刻時の項目名	"時"	
8	時刻分	C(2)	時刻分の項目名	"分"	
9	連絡先名	C(8)	連絡先名の項目名	"連絡先名"	
10	金融機関名	C(10)	金融機関名の項目名	"金融機関名"	
11	支店名	C(6)	支店名の項目名	"支店名"	
12	口座番号区分	C(12)	口座番号区分の項目名	"口座番号区分"	
13	口座種別	C(8)	口座種別の項目名	"口座種別"	
14	口座番号	C(8)	口座番号の項目名	"口座番号"	
15	再送表示	C(8)	再送表示の項目名	"再送表示"	
16	取引名	C(6)	取引名の項目名	"取引名"	
17	取引番号	C(8)	取引番号の項目名	"取引番号"	
18	明細区分	C(8)	明細区分の項目名	"明細区分"	
19	項目名情報	取扱日付月	C(10)	取扱日付月の項目名	"取扱日付月"
20		取扱日付日	C(10)	取扱日付日の項目名	"取扱日付日"
21		起算日月	C(8)	起算日月の項目名	"起算日月"
22		起算日日	C(8)	起算日日の項目名	"起算日日"
23		金額	C(4)	金額の項目名	"金額"
24		小切手区分	C(10)	小切手区分の項目名	"小切手区分"
25		摘要	C(4)	摘要の項目名	"摘要"
26		取立枚数	C(8)	取立枚数の項目名	"取立枚数"
27		取立番号	C(8)	取立番号の項目名	"取立番号"
28		需要家番号	C(10)	需要家番号の項目名	"需要家番号"
29		金融機関名	C(10)	金融機関名の項目名	"金融機関名"
30		支店名	C(6)	支店名の項目名	"支店名"
31		振込メッセージ	C(14)	振込メッセージの項目名	"振込メッセージ"
32		備考	C(4)	備考の項目名	"備考"
33		件数	C(4)	件数の項目名	"件数"
34		レコード区分	C(8)	項目の属性情報	"属性情報"
35	属性情報	日付月	C(1)	日付月の属性	"N"
36		日付日	C(1)	日付日の属性	"N"
37		時刻時	C(1)	時刻時の属性	"N"
38		時刻分	C(1)	時刻分の属性	"N"
39		連絡先名	C(1)	連絡先名の属性	"C"
40		金融機関名	C(1)	金融機関名の属性	"C"
41		支店名	C(1)	支店名の属性	"C"
42		口座番号区分	C(1)	口座番号区分の属性	"C"
43		口座種別	C(1)	口座種別の属性	"C"
44		口座番号	C(1)	口座番号の属性	"C"
45		再送表示	C(1)	再送表示の属性	"C"
46		取引名	C(1)	取引名の属性	"C"
47		取引番号	C(1)	取引番号の属性	"C"
48		明細区分	C(1)	明細区分の属性	"C"
49		取扱日付月	C(1)	取扱日付月の属性	"N"
50		取扱日付日	C(1)	取扱日付日の属性	"N"
51		起算日月	C(1)	起算日月の属性	"N"
52		起算日日	C(1)	起算日日の属性	"N"
53		金額	C(1)	金額の属性	"N"
54		小切手区分	C(1)	小切手区分の属性	"C"

55	摘要	C(1)	摘要の属性	"C"	
56	取立枚数	C(1)	取立枚数の属性	"N"	
57	取立番号	C(1)	取立番号の属性	"C"	
58	需要家番号	C(1)	需要家番号の属性	"C"	
59	金融機関名	C(1)	金融機関名の属性	"C"	
60	支店名	C(1)	支店名の属性	"C"	
61	振込メッセージ	C(1)	振込メッセージの属性	"C"	
62	備考	C(1)	備考の属性	"C"	
63	件数	C(1)	件数の属性	"N"	
64	レコード区分	C(6)	項目のバイト数	"項目長"	
65	日付月	N(1)	日付月の項目長	2	
66	日付日	N(1)	日付日の項目長	2	
67	時刻時	N(1)	時刻時の項目長	2	
68	時刻分	N(1)	時刻分の項目長	2	
69	連絡先名	N(2)	連絡先名の項目長	48	
70	金融機関名	N(2)	金融機関名の項目長	50	
71	支店名	N(2)	支店名の項目長	23	
72	口座番号区分	N(1)	口座番号区分の項目長	8	
73	口座種別	N(2)	口座種別の項目長	10	
74	口座番号	N(2)	口座番号の項目長	12	
75	再送表示	N(1)	再送表示の項目長	1	
76	取引名	N(1)	取引名の項目長	8	
77	取引番号	N(1)	取引番号の項目長	4	
78	明細区分	N(1)	明細区分の項目長	4	
79	項目長情報				
80	取扱日付月	N(1)	取扱日付月の項目長	2	
81	取扱日付日	N(1)	取扱日付日の項目長	2	
82	起算日月	N(1)	起算日月の項目長	2	
83	起算日日	N(1)	起算日日の項目長	2	
84	金額	N(2)	金額の項目長	14	
85	小切手区分	N(1)	小切手区分の項目長	8	
86	摘要	N(2)	摘要の項目長	48	
87	取立枚数	N(1)	取立枚数の項目長	6	
88	取立番号	N(1)	取立番号の項目長	6	
89	需要家番号	N(2)	需要家番号の項目長	20	
90	金融機関名	N(2)	金融機関名の項目長	15	
91	支店名	N(2)	支店名の項目長	15	
92	振込メッセージ	N(2)	振込メッセージの項目長	20	
93	備考	N(2)	備考の項目長	50	
93	件数	N(1)	件数の項目長	3	
94			明細の情報		
95	レコード区分	C(4)		"明細""合計"	
96	振込入金明細照会ヘッダ情報	日付月	N(2)	振込入金明細照会実施	
97		日付日	N(2)	時の日付	
98		時刻時	N(2)	振込入金明細照会実施	
99		時刻分	N(2)	時の時刻	
100		連絡先名	C(48)	連絡先名	
101		金融機関名	C(50)	金融機関名	(注1)
102		支店名	C(23)	支店名	(注2)
103		口座番号区分	C(8)	口座番号区分	"口座番号"
104		口座種別	C(10)	口座種別	(注3)
105		口座番号	C(12)	口座番号	(注4)
106	振込入金明細情報	再送表示	C(1)	再送表示	"*または空欄を出力する。
107		取引名	C(8)	取引名	(注5)
108		取引番号	C(4)	取引番号	(注6)
109		明細区分	C(4)	明細区分	(注7)
110		取扱日付月	N(2)	ARS取扱い日付の上2桁	
111		取扱日付日	N(2)	ARS取扱い日付の下2桁	
112		起算日月	N(2)	日付の上2桁	
113		起算日日	N(2)	日付の下2桁	
114		金額	N(14)		(注8)
115	振込入金明細照会データ情報	小切手区分	C(8)	小切手区分	"小切手"、"他店券"、"現金"、"振替入金"、"取立"、"振込"、"他券振込"、"振替支払"、"交換払"のいずれかを出力する。
116		摘要	C(48)	摘要	-(注9)
117		取立枚数	N(6)	取立枚数	-
118		取立番号	C(6)	取立番号	-
119		需要家番号	C(20)	需要家番号	-
120		金融機関名	C(15)	振込金融機関名	- (注10)
121		支店名	C(15)	振込支店名	- (注11)
122		振込メッセージ	C(20)	EDI情報	- (注12)
123		備考	C(50)	備考	-
124		件数	N(3)	件数	- (注13)

注1 『AnserBizSOL\_18\_提供サービス\_02』の「表示金融機関名称」の内容を出力する。

- 注2 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「支店名」を出力する。
- 注3 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「科目」を出力する。
- 注4 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「口座番号」を出力する。
- 注5 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「取引名」を出力する。
- 注6 振込番号を出力する。
- 注7 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「明細区分」を出力する。
- 注8 振込入金合計金額、金額のいずれかを出力する。  
金額区分によっては先頭にマイナス(-)を付与する。
- 注9 振込人名、取立人名、摘要名を出力する。
- 注10 振込金融機関名を出力する。
- 注11 振込支店名を出力する。
- 注12 EDI情報を出力する。
- 注13 総件数または振込合計件数を出力する。

## 振込入金明細照会結果ファイル（XML形式） レコードフォーマット

### 基本事項

レコードフォーマット(XML形式)表の基本事項を示す。

・「繰返」：XMLタグの出現頻度を示す。

[0..1] : XMLタグが必ず1つであり、上位のタグが存在する場合、必須項目であることを示す。

[1..1] : XMLタグが必ず1つであり、上位のタグが存在する場合、必須項目であることを示す。

[0..n] : XMLタグがない、または1つ以上であることを示す。

[1..n] : XMLが1つ以上であることを示す。

・データ長：各XMLタグの項目属性(使用可能文字)とそのデータ長を示す。

C : 半角文字であることを示す

N : 半角数字であることを示す

K : 漢字 全角文字を含むシステム使用可能文字を示す

± : 設定値なし(タグのみ)

### 【注意事項】

・本フォーマットは、「ISO20022【camt.054】（振込入金明細フォーマット）」に準拠しているため、記載のないタグについては、出力しない。

・最大ファイルサイズは、10メガバイトとなる。

・予約文字については実体参照による置き換えとする。

(&(アンパンド) ⇒&amp;、<(小なり) ⇒&lt;、>(大なり) ⇒ &gt;、"(二重引用符) ⇒&quot;、'(引用符) ⇒&apos;)

項目番	項目名	XMLタグ	繰返	データ長	備考
1	XML宣言	※備考参照	-	±	"<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>"を設定
2	XMLドキュメントルート	<Document> ※備考参照	[1..1]	±	タグ属性に "xmlns="urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:camt.05.4.001.02""を指定する。
3	振込入金通知ルート	<BkToCstmrDbtCdtNtfctn>	[1..1]	±	
4	グループヘッダー情報	<GrpHdr>	[1..1]	±	
5	グループメッセージID	<MsgId>	[1..1]	C(1)	'*'固定
6	XMLファイル作成日時	<CreDtTm>	[1..1]	C(19)	表示形式："YYYY-MM-DDT00:00:00"(時刻部分は ALLO)
7	通知情報	<Ntfctn>	[1..n]	±	「口座情報」の件数分設定する。
8	通知ID	<Id>	[1..1]	N(3)	「通知情報」単位の識別番号。表示形式:数字連番
9	通知情報作成日時	<CreDtTm>	[1..1]	C(19)	振込入金明細照会実施時の日時を設定する。 形式："YYYY-MM-DDT00:00:00"(時刻部分はALLO)
10	口座情報	<Acct>	[1..1]	±	
11	口座識別情報	<Id>	[1..1]	±	
12	口座識別詳細情報	<Othr>	[1..1]	±	
13	口座番号	<Id>	[1..1]	C(12)	※未設定の場合でも、本フォーマット必須のため、半角スペー ス1桁を設定する。(注1)
14	預金種目情報	<Tp>	[0..1]	±	
15	預金種目	<Prtry>	[1..1]	K(10)	(注2)
16	金融機関情報	<Svcr>	[0..1]	±	
17	金融機関識別情報	<FinInstnId>	[1..1]	±	
18	決裁システム識別情報	<ClrSysMmbId>	[0..1]	±	
19	銀行コード	<MmbId>	[1..1]	C(4)	
20	支店情報	<BrnchId>	[0..1]	±	
21	支店コード	<Id>	[0..1]	C(3)	(注3)
22	支店名	<Nm>	[0..1]	K(15)	(注4)
23	総取引情報	<TxSummary>	[0..1]	±	「振込合計件数」「振込合計金額」を未設定とする場合、本 タグを設定しない
24	振込合計情報	<TtlCdtNtries>	[0..1]	±	
25	振込合計件数	<NbOfNtries>	[0..1]	N(15)	(注5)
26	振込合計金額	<Sum>	[0..1]	N(18)	(注6)
27	取引情報	<Ntry>	[1..n]	±	
28	金額	<Amt Ccy="JPY">	[1..1]	N(15)	※「金額(金額)」が未設定の場合、0を設定(注7)
29	取消区分	<CdtDbtInd>	[1..1]	C(4)	以下のいずれかを設定する。 DBIT:取引区分が"取消"の場合 CRDT:上記以外の場合 (注8)
30	取消通知区分	<RvslInd>	[0..1]	C(4)	以下のいずれかを設定する。 true:金額がマイナスの場合 設定なし:金額がマイナス以外の場合
31	取引ステータス	<Sts>	[1..1]	C(4)	'BOOK'固定
32	勘定日情報	<BookgDt>	[0..1]	±	「勘定日」を未設定とする場合、本タグを設定しない。
33	勘定日	<Dt>	[1..1]	C(10)	表示形式："YYYY-MM-DD" ※DD部分のみの場合、本タグは設定しない。 (注9)
34	起算日情報	<ValDt>	[0..1]	±	「起算日」を未設定とする場合、本タグは設定しない。
35	起算日	<Dt>	[1..1]	C(10)	表示形式："YYYY-MM-DD" ※DD部分のみの場合、本タグは設定しない。 (注10)
36	取引情報種別	<BkTxCd>	[1..1]	±	
37	取引情報種別ドメイン情報	<Domn>	[0..1]	±	

38	取引情報種別ドメインコード	<Cd>	[1..1]	C(4)	'PMNT'固定
39	取引情報種別系列コード情報	<Fmly>	[1..1]	±	
40	取引情報種別系列コード	<Cd>	[1..1]	C(4)	'RCDT'固定
41	取引情報種別サブ系列コード	<SubFmlyCd>	[1..1]	C(4)	'DMCT'固定
42	取引明細情報	<NtryDtls>	[0..1]	±	
43	取引詳細情報	<TxDtls>	[0..1]	±	
44	取引明細識別情報	<Refs>	[0..1]	±	「照会番号」を未設定とする場合、本タグを設定しない。
45	照会情報	<Ptry>	[0..1]	±	
46	照会情報種別	<Tp>	[1..1]	C(16)	'Reference Number'固定
47	照会番号	<Ref>	[1..1]	C(5)	「再送表示」と「取引番号」を連結して設定する。 (注11)
48	取引明細種別	<BkTxCd>	[0..1]	±	
49	取引明細種別ドメイン情報	<Domn>	[0..1]	±	
50	取引明細種別ドメインコード	<Cd>	[1..1]	C(4)	"PMNT"固定
51	取引明細種別系列コード情報	<Fmly>	[1..1]	±	
52	取引明細種別系列コード	<Cd>	[1..1]	C(4)	"RCDT"固定
53	取引明細種別サブ系列コード	<SubFmlyCd>	[1..1]	C(4)	"DMCT"固定
54	振込依頼人情報	<RltdPties>	[0..1]	±	「振込依頼人名」を未設定とする場合、本タグを設定しない。
55	振込依頼人詳細情報	<Dbtr>	[0..1]	±	
56	振込依頼人名	<Nm>	[0..1]	C(48)	(注12)
57	金融機関情報	<RltdAgts>	[0..1]	±	「仕向銀行名」「仕向支店名」を未設定とする場合、本タグを設定しない。
58	仕向金融機関情報	<DbtrAgt>	[0..1]	±	
59	仕向金融機関詳細情報	<FinInstnId>	[1..1]	±	「仕向銀行名」を未設定とする場合、本タグは空タグとする。 形式:<FinInstnId>/</FinInstnId>
60	仕向銀行名	<Nm>	[0..1]	C(15)	(注13)
61	仕向支店情報	<BrnchId>	[0..1]	±	「仕向支店名」を未設定とする場合、本タグを設定しない。
62	仕向支店名	<Nm>	[0..1]	C(15)	(注14)
63	商流識別情報	<RltdRmtInf>	[0..1]	±	「EDI情報」を未設定とする場合、本タグを設定しない。
64	EDI情報	<RmtId>	[0..1]	C(20)	(注15)
65	商流情報	<RmtInf>	[0..1]	±	「金融EDI情報」を未設定とする場合、本タグを設定しない。
66	金融EDI情報	<Ustrd>	[1..500]	K(140)	「EDI情報」がEDIキー情報("****"固定 + 英数字17桁)の場合、全銀EDIシステムに存在するEDI情報を設定する。 エンコードされている場合であっても、そのままの値を設定する。
67	仕向金融機関指示情報	<AddtlNtryInf>	[0..1]	K(15)	表示形式:取引区分+"(明細区分)"+/+小切手区分 例)明細区分、小切手区分が未設定の場合:"振込" 明細区分、小切手区分が設定されている場合:"振込(欠番) 小切手" (注16)
68	金融機関指示情報	<AddtlNtfctnInf>	[0..1]	K(48)	(注17)

注1 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「照会口座(口座番号)」を出力する。

注2 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「照会口座(科目名)」を出力する。

注3 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「照会口座(支店コード)」を出力する。

注4 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「照会口座(支店名)」を出力する。

注5 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「振込入金合計件数」を出力する。

注6 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「振込入金合計金額」を出力する。

注7 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「金額(金額)」を出力する。

ただし、金額がマイナスの場合、マイナスを除去して設定する。

注8 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「取引区分(明細区分)」の内容に応じて出力する。

注9 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「勘定日」を出力する。

注10 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「起算日」を出力する。

注11 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「振込入金明細照会結果エリア」における「再送表示」「取引番号」を出力する。

注12 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「振込人名」を出力する。

注13 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「金融機関名」を出力する。

注14 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「支店名」を出力する。

注15 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「振込メッセージ」を出力する。

注16 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「取引区分(取引区分)」、「取引区分(明細区分)」、および「金額(小切手区分)」を出力する。

注17 「振込入金明細照会[ANSER]結果画面(BFMR002)」の「連絡先名」を出力する。